



# みかんぐみだより

2020年8月3日  
尚徳福祉会おぐら保育園  
みかん組担任

梅雨が長くてなかなか思い切り水遊びができなかった7月でしたが、暑さも本番になり、今月は「水って、気持ちいいね。」「バシャバシャって面白いね。」という声が聞えてくることを楽しみにしています。

長い梅雨…それでもちゃんと季節は変わっていて、幼児さんの飼っているカブトムシを見せてもらったり、園庭に飛んでくるアゲハチョウの幼虫を見つけて、みんなで「すごーい！」と触ったり、観察したりと夏の虫を楽しんでいます。

暑さに負けず、「暑いけど、楽しい！」と思える時間を過ごしたいと願っています。



## ～絵本だいすき～

毎日、子どもたちは自分の好きな本を次々に「せんせー、読んで」と持ってきます。順番に読むのですが、自分の持ってきた本でなくてもみんな真剣に見入っています。一冊が終わっても「もう1回！」とリクエストが入り、同じ本を3回程読むこともあります。次は別の子の本。また、同じことが繰り返されます。「みんな、絵本が本当にすきね。」とこちらが感心してしまう程です。

読んで、読んでと言ってくれる時こそ、本好きに育つ絶好のチャンスです。大人も一緒に笑ったり、ホッとしたりと気持ちを共にしながら楽しみたいものです。



### 虫刺されにご注意

- ・虫よけは園でもしますが、お家を出る時にもしていただけると、よい効果があります。
- ・ムヒパッチなどは誤飲の恐れがあるので、お控えください。



## ♪次は何の曲？♪

毎日1度はCDをかけて「できるかな」や「おやつをたべよう」、「とけいロック」etc. 色々なリズムに乗って身体を動かしています。みんな大好きで、「次は何が始まるかな？」と耳を傾けて曲のかかるのを待っています。

特に、「おやつをたべよう」はCDがなくても口ずさみながら、友だちと一緒に「ちくわ、わあ！」「せんべい、ペー！」と言って踊る姿はかわいらしいです。

## せんせい、みてー！

子どもたちが毎日、「みてー！」と色々な物を持ってきます。バケツに入ったアリやダンゴムシ、小石や葉っぱ、最近では幼虫などです。どれも大切な宝物…

少し前までは、ただ珍しさで見ただけなのに、アリのバケツに葉っぱを入れて「アリさんのごはん」と話したり、器に小石を入れて振るとカラコロ音がするのを教えてくれたりと、「こうしたら、どうなるかな？」「どうしてなんだろう？」と考え始めた姿が見られます。興味がある様なら、それに関連する本を開いたり、一緒に「これはどんな音かな？」など、共感しながら、興味を深めていってほしいと思います。

